

# 越前打刃物

## 【産地組合】越前打刃物産地協同組合連合会

### （産地紹介）

室町時代の初め頃、京都の刀作りの職人が、刀剣製作にふさわしい土地を求めてこの地にやって来た時、近くの農民のために鎌を作ったことが始まりだったと言われています。江戸時代には福井藩の保護により、「越前鎌」として全国で売られるようになりました。昭和54年には刃物産地として、最初の伝統的工芸品の指定を受けました。

製造工程は、鋼づくりから仕上げまで、23の行程を経て造られる。日本古来の火作り鍛造技術と手仕上げを主として、鎌、包丁等を主な製品としています。製品の品質、切れ味は共に優秀で、全国有数の打刃物産地として知られています。

